

平成 19 年 9 月期 中間決算説明資料



株式会社 石井工作研究所
ISHII TOOL & ENGINEERING CORP.

<http://www.i-kkco.jp>

決算説明資料の構成

- 1 . 平成 19 年 9 月期中間決算概要
- 2 . 平成 20 年 3 月期通期業績予想
- 3 . 会 社 概 要
- 4 . 技術・新製品開発



1. 平成19年9月期中間決算概要

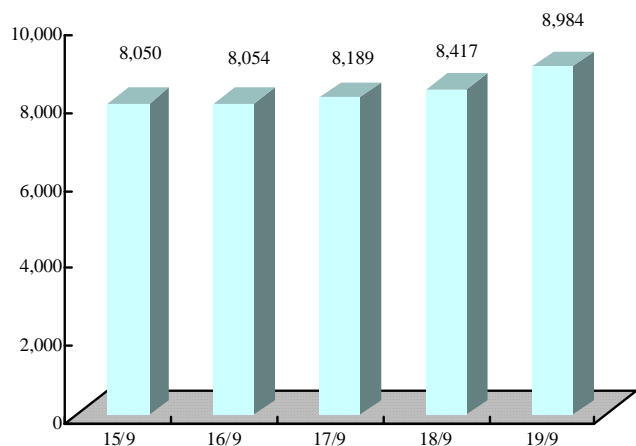
1. 最近5年間の業績の推移

回 次	第 26 期中	第 27 期中	第 28 期中	第 29 期中	第 30 期中
決 算 年 月	平成 15 年 9 月	平成 16 年 9 月	平成 17 年 9 月	平成 18 年 9 月	平成 19 年 9 月
売 上 高 (千円)	1,788,619	2,441,493	1,631,794	2,249,338	2,607,492
売 上 総 利 益 (千円)	476,428	686,096	466,535	815,525	854,569
販 売 管 理 費 及 び 一 般 管 理 費 (千円)	401,106	437,277	362,790	375,828	384,312
営 業 利 益 又 は 営 業 損 失 () (千円)	75,322	248,818	103,744	439,696	470,256
経 常 利 益 又 は 経 常 損 失 () (千円)	71,328	265,516	119,997	446,690	480,045
中 間 純 利 益 又 は 中 間 純 損 失 () (千円)	37,521	141,220	54,727	237,890	285,608
資 本 金 (千円)	1,186,300	1,186,300	1,186,300	1,186,300	1,186,300
発 行 済 株 式 総 数 (千株)	7,800	7,800	7,800	7,800	7,800
純 資 産 (千円)	6,421,329	6,518,719	6,572,934	6,839,078	7,096,146
総 資 産 (千円)	8,050,679	8,054,420	8,189,028	8,417,054	8,984,346
1 株 当 たり 純 資 産 額 (円)	824.16	837.06	844.43	879.04	912.55
1 株 当 たり 中 間 純 利 益 又 は 中 間 純 損 失 () (円)	4.82	18.13	7.03	30.57	36.72
自 己 資 本 比 率 (%)	79.8	80.9	80.3	81.3	79.0
営 業 活 動 に よ る キャ ッ シ ュ フ ロ - (千円)	221,335	461,640	598,771	602,312	188,698
投 資 活 動 に よ る キャ ッ シ ュ フ ロ - (千円)	31,601	127,984	157,778	17,241	18,029
財 務 活 動 に よ る キャ ッ シ ュ フ ロ - (千円)	1,064	177,875	93,540	77,671	117,083
現 金 及 び 現 金 同 等 物 残 高 (千円)	927,197	1,259,812	1,824,317	1,641,237	1,705,401
従 業 員 数 (名)	276	268	263	267	276

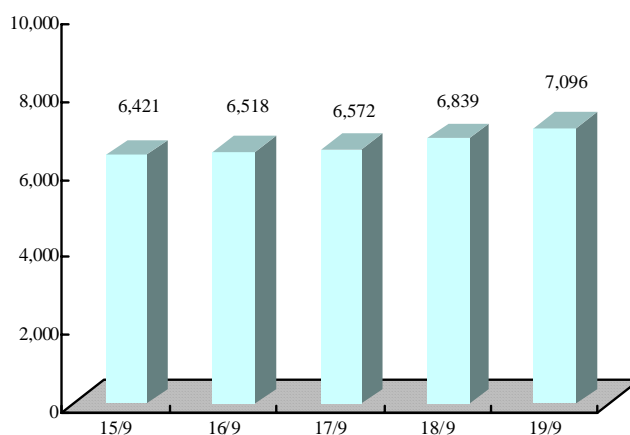


財務状態 Financial Condition

総資産 Total assets (百万円/¥Millions)

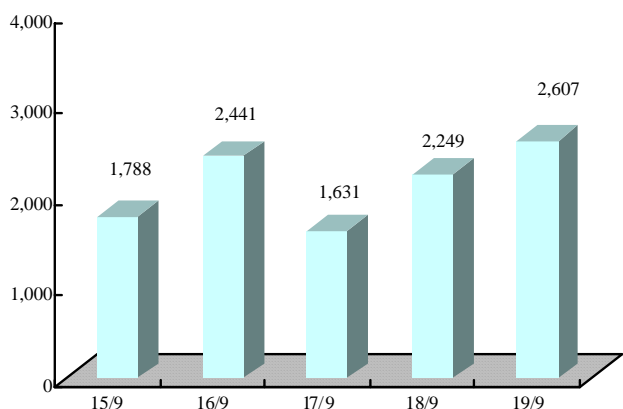


純資産 Shareholders' equity (百万円/¥Millions)

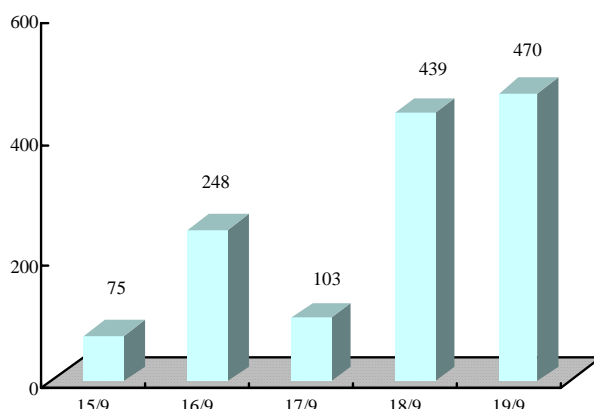


業績推移 Operating results

売上高 Net sales (百万円/¥Millions)



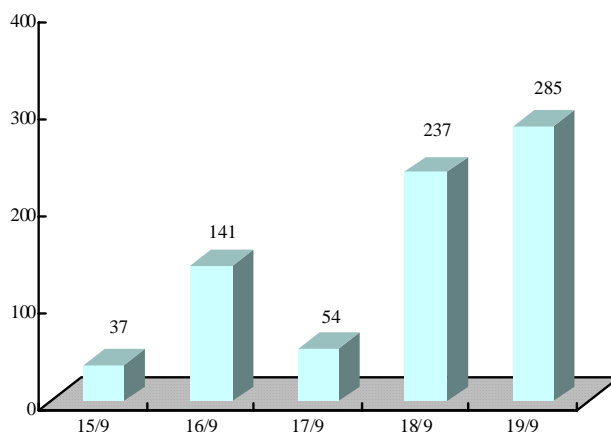
営業利益 Operating income (百万円/¥Millions)



経常利益 Ordinary income (百万円/¥Millions)

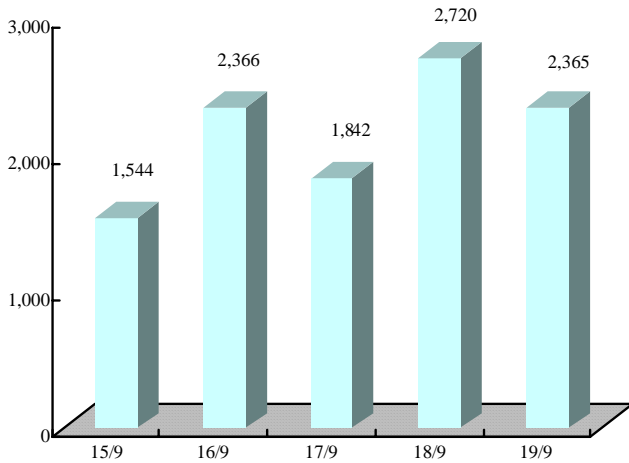


中間純利益 Net income (百万円/¥Millions)

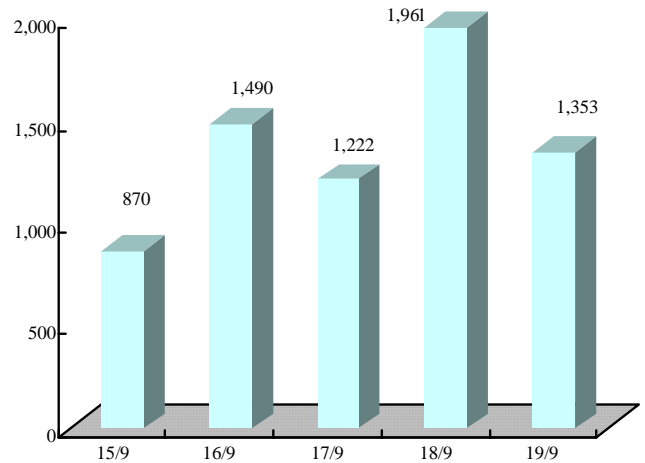




受注高 Order received (百万円/¥Millions)

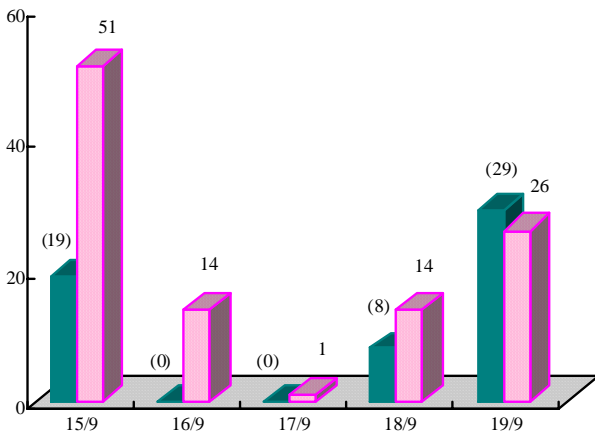


受注残高 Order backlog (百万円/¥Millions)



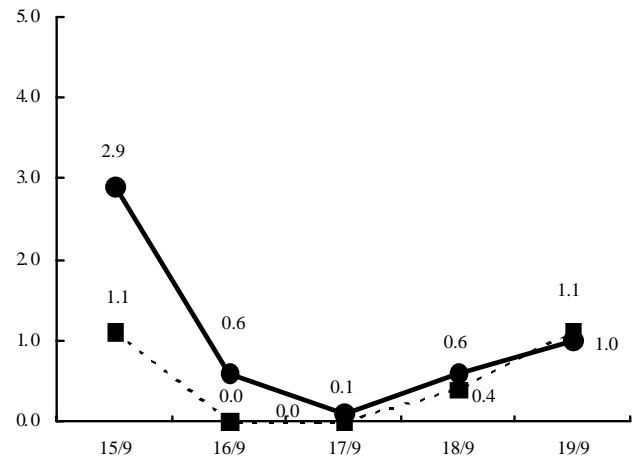
設備投資額・研究開発費等指標 Capital expenditures/Research and development expenses Data

研究開発費 Research and development expenses (百万円/¥Millions)



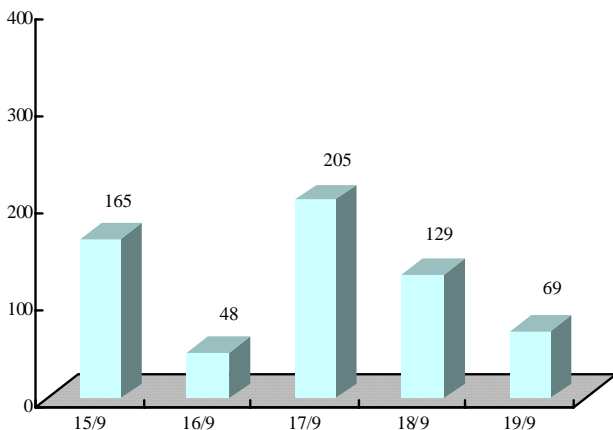
注 ()内数字は経費として計上したもの

研究開発費の対売上比率 Ratio of sales to research and development expenses (%)



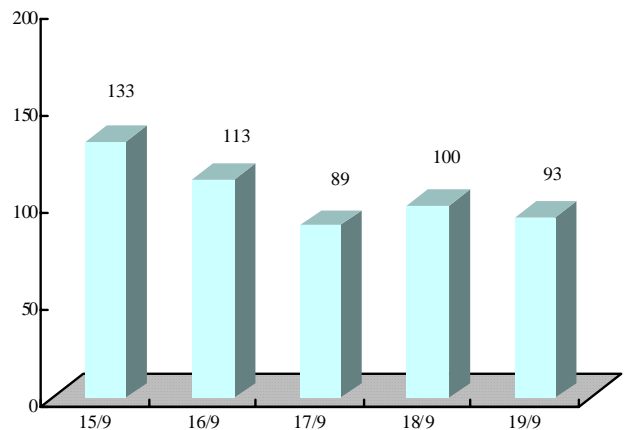
注 点線は経費として計上したものの比率

設備投資額 Capital expenditures (百万円/¥Millions)



注 リース取得価額相当額を含む

減価償却費 Depreciation (百万円/¥Millions)

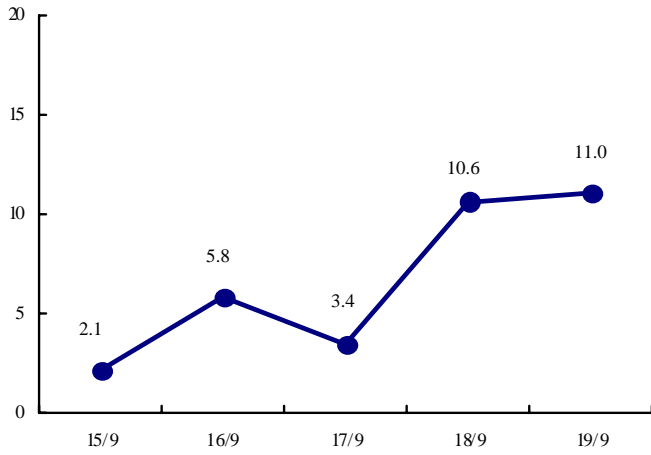


注 支払リース料における減価償却費相当額を含む

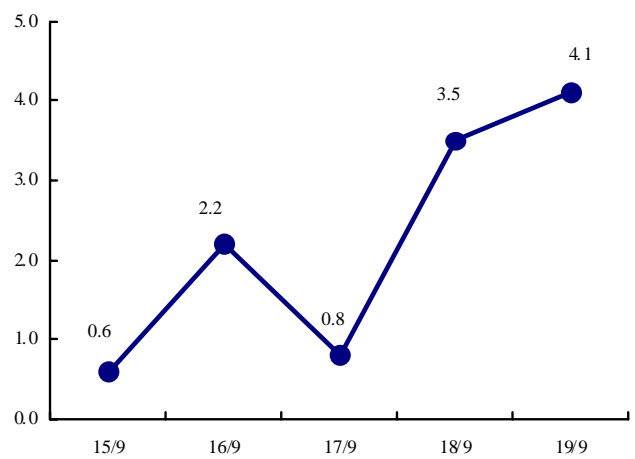


収益性指標 Profitability

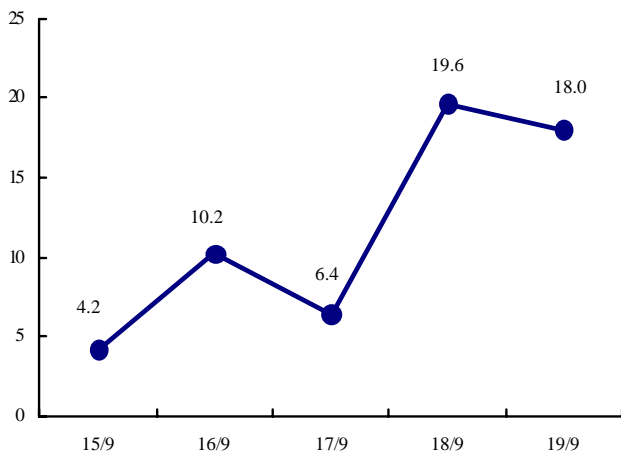
売上高純利益率 Net income to net sales (%)



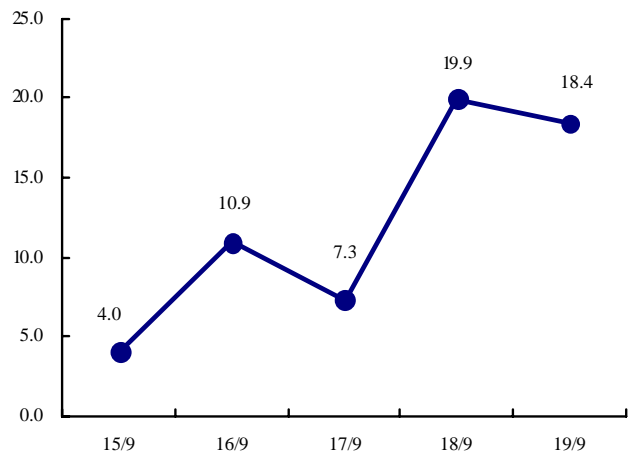
純資産純利益率 Return on equity (%)



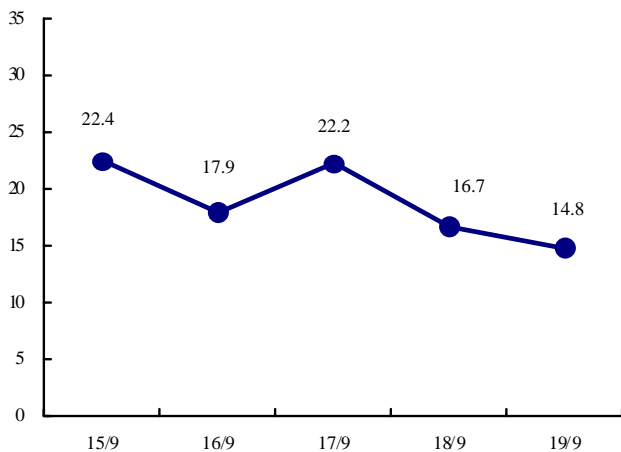
売上高営業利益率 Operating income to net sales (%)



売上高経常利益率 Ordinary income to net sales (%)



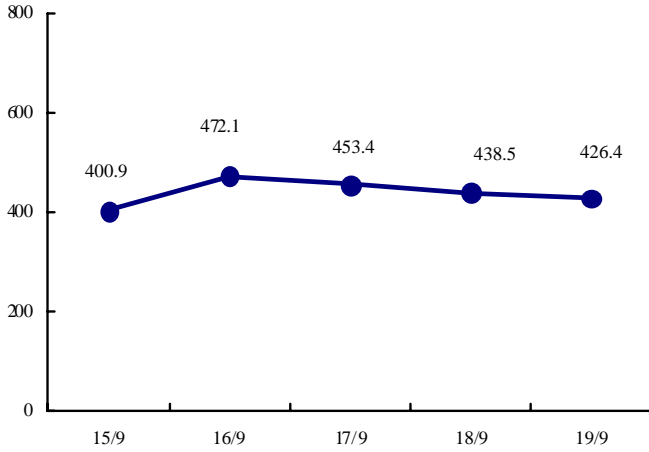
販管費の対売上比率 Ratio of sale to selling, general and administrative expenses (%)



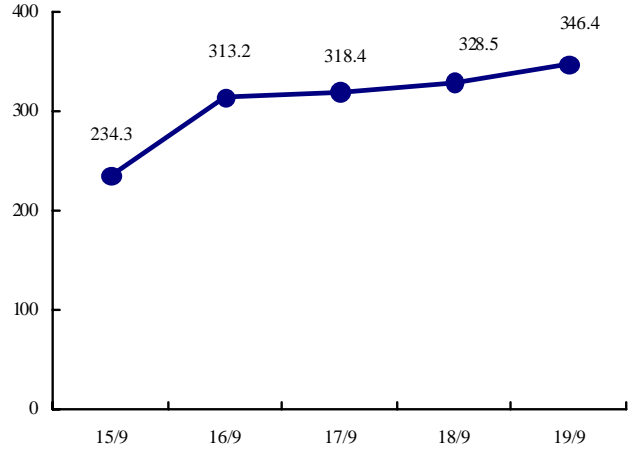


安定性指標 Financial stability

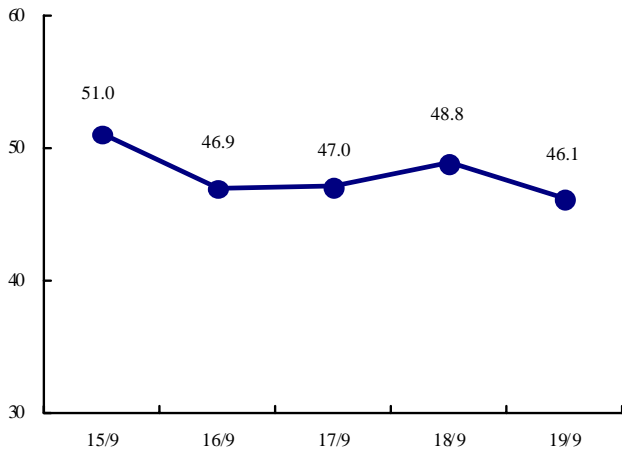
流動比率 Current ratio (%)



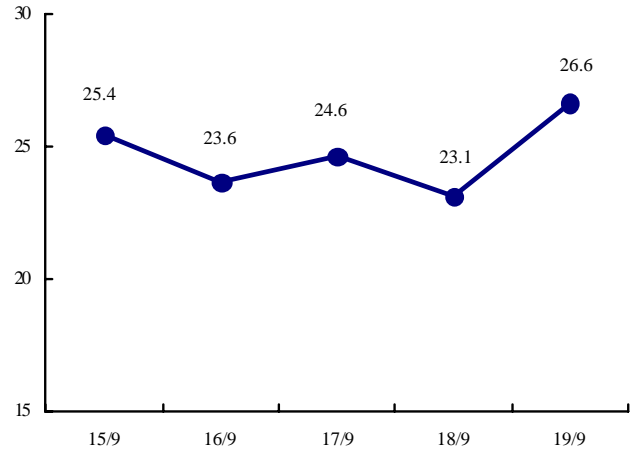
当座比率 Quick ratio (%)



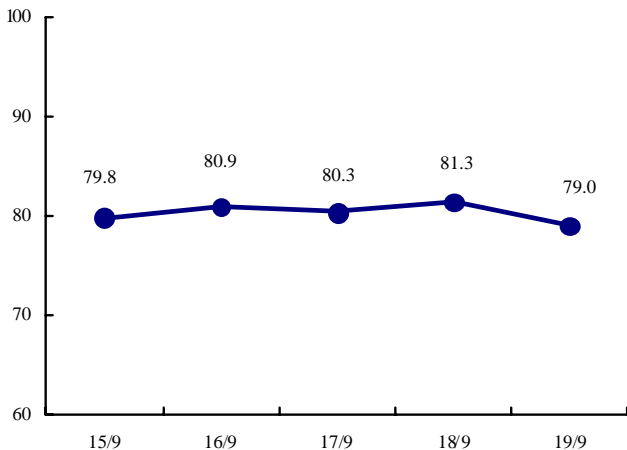
固定比率 Fixed assets ratio (%)



負債比率 Liabilities to shareholders' equity ratio (%)



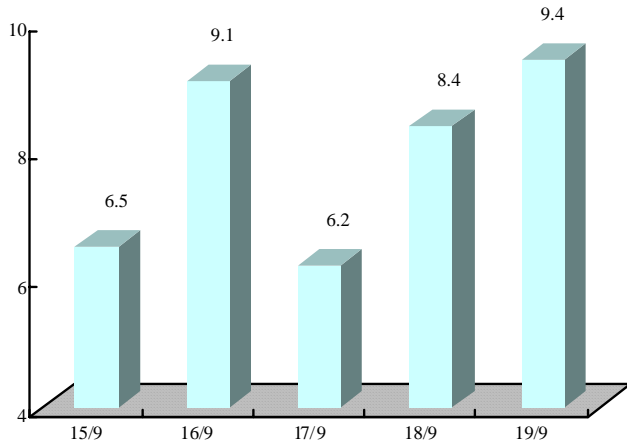
自己資本比率 Shareholders' equity to total assets (%)



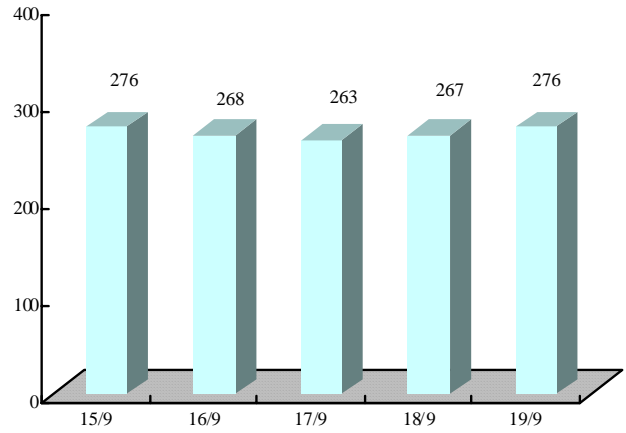


従業員 1 人当たり指標 Per employee Data

従業員 1 人当たり売上高 Net sales per employee (百万円/¥Millions)

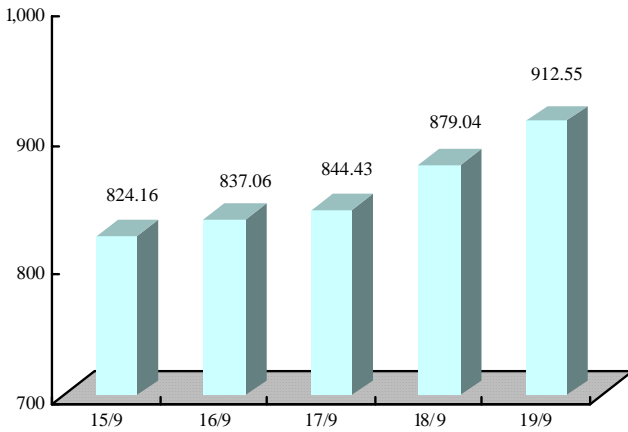


期末従業員数 Number of employees at fiscal year-end (人/persons)

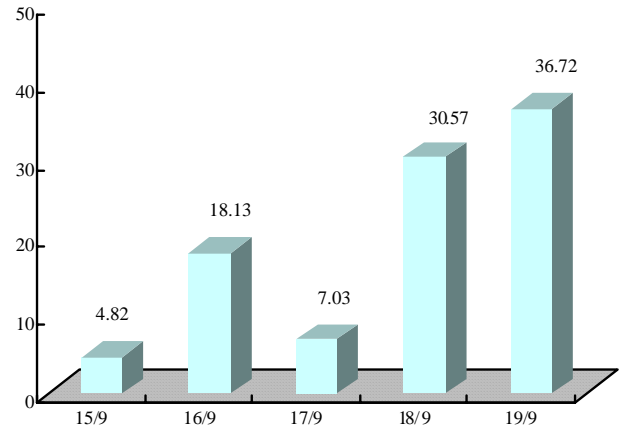


1 株当たり指標 Per share Data

1 株当たり純資産額 Shareholders' equity per share (円/¥)



1 株当たり中間純利益 Net income per share (円/¥)



3. 受注状況

(単位：千円)

期 別 品 目		第 29 期中 (自平成18年4月1日 至平成18年9月30日)		第 30 期中 (自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)		第 29 期 (自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)	
		受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
半 導 体 関 連 事 業	半 導 体 関 連 製 造 装 置 及 び 金 型	2,580,199 (630,586)	1,892,883 (333,731)	2,219,838 (636,086)	1,319,717 (202,984)	4,728,186 (1,154,968)	1,508,331 (229,965)
	加 工 部 品	68,222 (7,174)	13,210 (638)	51,293 (11,021)	7,580 (1,445)	116,708 (15,277)	5,165 (932)
	電 装 品	3,855 ()	()	3,504 ()	()	7,139 ()	()
	そ の 他	67,943 (17,777)	42,794 (11,600)	54,683 (12,010)	19,113 (2,535)	128,017 (28,711)	24,101 (1,901)
浄水事業	浄 水 装 置	344	12,452	35,820	7,471	3,547	9,961
合 計		2,720,564 (655,538)	1,961,340 (345,970)	2,365,139 (659,119)	1,353,883 (206,965)	4,983,600 (1,198,956)	1,547,559 (232,798)

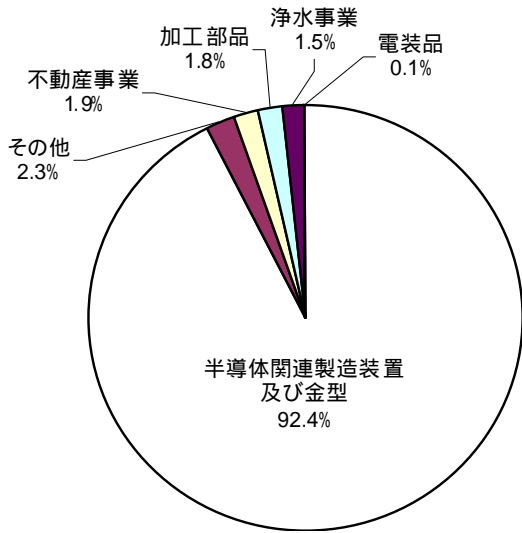
(注) 1. 金額には消費税は含まれておりません。

2. ()内の数字は内数で輸出受注高であり、総受注高に対する輸出受注高の割合は、前中間期 24.1%、当中間期 27.9%であります。

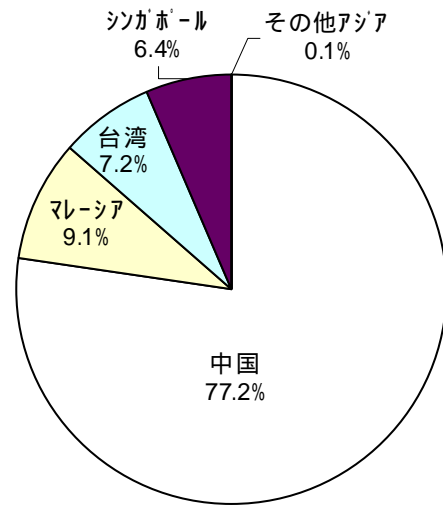


売上高及び受注高構成（19年9月期）

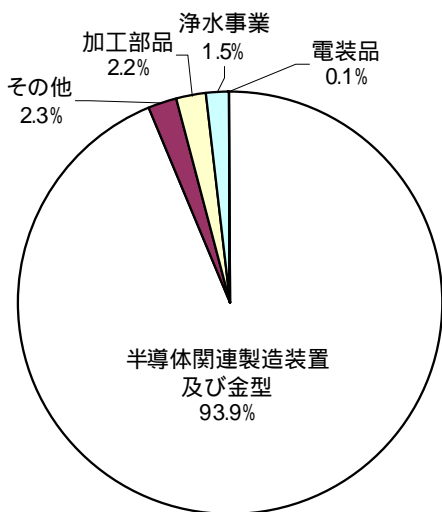
品目別売上高



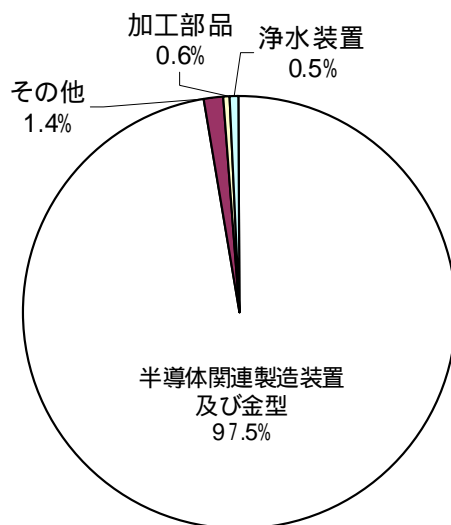
輸出地域別売上高



受注高



受注残高





2. 平成20年3月期業績予想

第30期（平成20年3月期）の利益計画

a. 利益計画表

（単位：千円）

項 目	期 別		第29期 （19年3月期）		第30期予想 （20年3月期）		増 減
売 上 高			5,001,093	100.0	4,700,000	100.0	301,093
売 上 原 価			3,346,923	66.9	3,141,015	66.8	205,908
売 上 総 利 益			1,654,170	33.1	1,558,985	33.2	95,185
販売管理費及び一般管理費			763,523	15.3	722,985	15.4	40,538
営 業 利 益			890,647	17.8	836,000	17.8	54,647
営 業 外 収 益			13,076	0.2	14,000	0.3	924
営 業 外 費 用							
経 常 利 益			903,723	18.0	850,000	18.1	53,723
特 別 利 益							
特 別 損 失			87,472	1.7	10,519		76,953
税引前当期純利益			816,251	16.3	839,481	18.1	23,230
法人税及び住民税			301,707	6.0	332,481	7.3	30,774
法人税等調整額			187,754	3.8			187,754
当 期 純 利 益			326,790	6.5	507,000	10.8	180,210

b. 売上高の品目別内訳

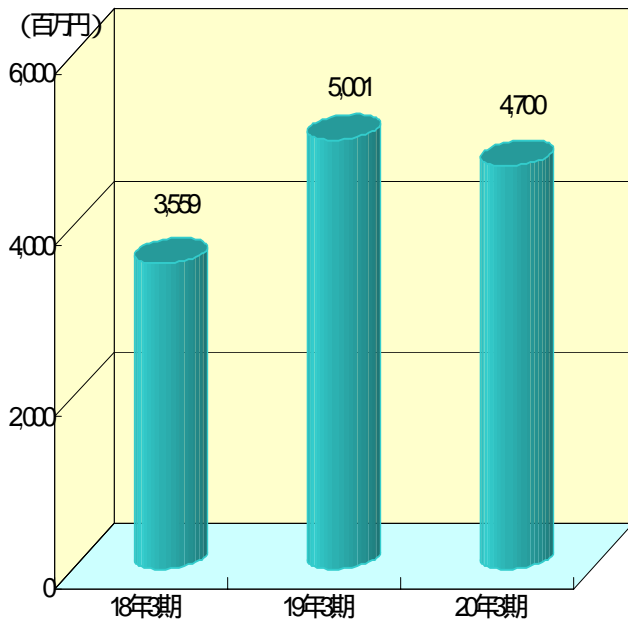
（単位：千円）

項 目	期 別		第29期 （19年3月期）		第30期予想 （20年3月期）		増 減
半 導 体 関 連 事 業	半導体関連製造装置 及び金型		4,549,054	91.0	4,106,000	87.3	443,054
	加 工 部 品		225,189	4.5	423,000	9.0	197,811
	電 装 品		7,139	0.1	8,000	0.2	861
	そ の 他		133,285	2.7	113,000	2.4	20,285
住 宅 事 業	マンション及び住宅		77,896	1.5	42,000	0.9	35,896
浄水事業	浄水装置		8,528	0.2	8,000	0.2	528
合 計			5,001,093	100.0	4,700,000	100.0	301,093

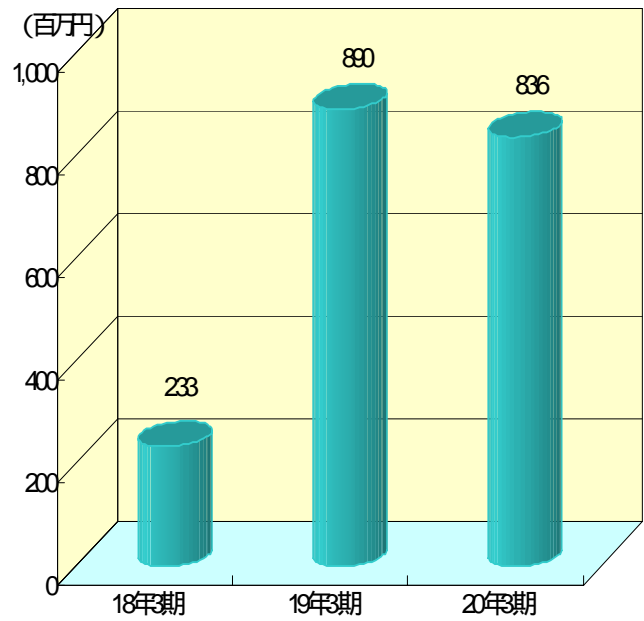
（注）本資料に掲載されている業績予想、見通し、事業戦略につきましては、現在入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想と異なる結果となる可能性があります。

20年 3月期の目標

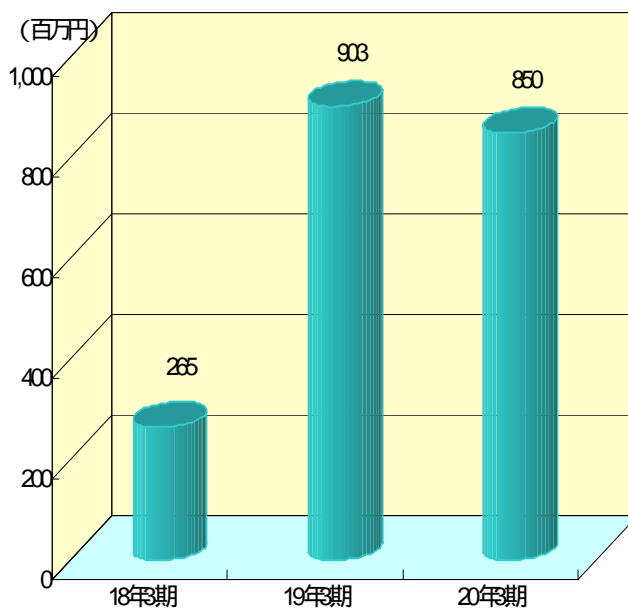
売上高



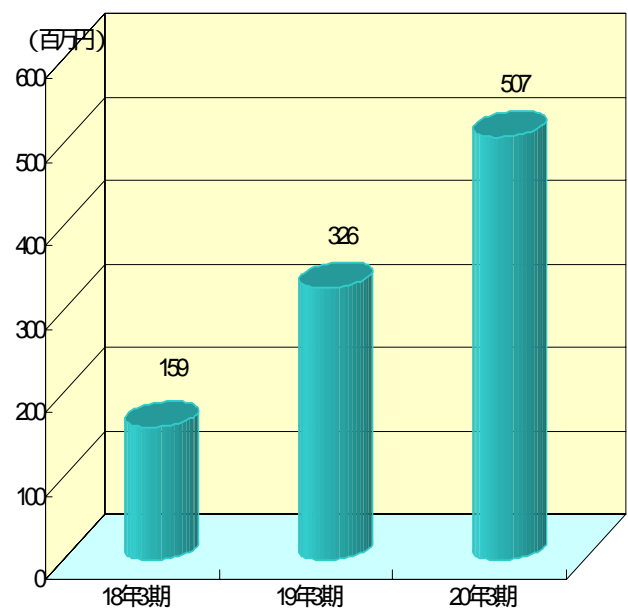
営業利益



経常利益



純利益





4. 技術・新製品開発

最新開発商品 New Product

QFP(MTX)切断成形検査装置 SP-5366-GL

- ・マトリクスフレームタイプのQFP製品を高性能IKKソフトプレスと高精度金型を使用し、切断成形、個片切断を行います。
- ・個片切断後にリード欠損等の外形形状を画像処理にて検査を行います。
- ・外装は清潔なステンレス仕上げで、工場の無塵化に貢献します。



個片PKG対応レーザーマーク装置/ボール外観検査装置 SL-1780-NL/SG-1780-NL

- ・トレイに収納された製品を個片搬送、処理しアンローダのトレイに順次収納する装置です。
- ・品種交換はシンプル段取りです。
- ・ご希望のレーザー発振機/画像処理ユニットを搭載することができます。
- ・少数生産から量産まで幅広く対応します。



セミオート切断プレス装置 SP1102-NL

- ・コンパクトなボディーに高性能IKKソフトプレスを搭載した、コストパフォーマンスに優れた、トリミング装置です。
- ・簡易ローダ/アンローダを装備し、少枚数生産に最適です。



車載用部品組立装置

- ・大分曲工場完成に伴い、従来設備より大型な、半導体分野以外の車載用部品組立装置や、液晶用組立装置の製作を開始しました。



お問い合わせ等は、本社営業課、東京営業所、大阪営業所、熊本営業所、または hsales@i-kk.co.jp まで。

Contact us at Headquarter sales, Tokyo sales office, Osaka sales office, Kumamoto sales office, or hsales@i-kk.co.jp for any inquiry.

- 環境事業課 -

ECO-Products Sales 2007



<http://www.i-kk.co.jp/03/HTML/index.html>



水質浄化装置

【開発 / 製造 / 販売】

池・貯水池・ダム・湖沼・河川・海域などの様々な条件下に対応するため、実験 / 開発を行っています。

- 平成 16 年 アオコ対策 大分県 芹川ダム [企業局] 実験中
 - 平成 17 年 大規模水域浄化・アオコ対策 愛媛県 鹿野川ダム [国土交通省] 実験中
- 【環境省 環境技術実証モデル事業 湖沼等水質浄化技術分野 湖沼等水質浄化技術実証試験】

国土交通省 国土技術政策総合研究所 ダム技術提案登録No.20040446

アオコ処理型ゴミ回収船



漂流物を回収しながらアオコを殺藻

回収船で航行しながら風で移動していく集積アオコを超音波とオゾンで処理し、漂流物（ゴミ）などを回収できます。広範囲に亘りアオコの回収が可能となりました。

□ オゾン発生装置 (MOL-3) 搭載

ジェット・ストリーマー

数々の実績と信頼の噴流型循環装置

循環による浄化法でアオコの発生や異臭などを抑止します。密度の違いによる成層を乱流混合で破壊し底層の貧酸素状態を改善します。小さな力で広範囲の水を動かし水質保全をします。



アルジーハンター

□ オゾン発生装置 (MOL-3) 搭載

【超音波殺藻装置】 水面に浮かぶアオコを処理します。

夏期に水面に浮かび異臭を放つ集積アオコを吸入し超音波とオゾンで処理します。超音波による処理で平均殺藻率 65% という好結果が得られました。（G 調整池での計測結果より）

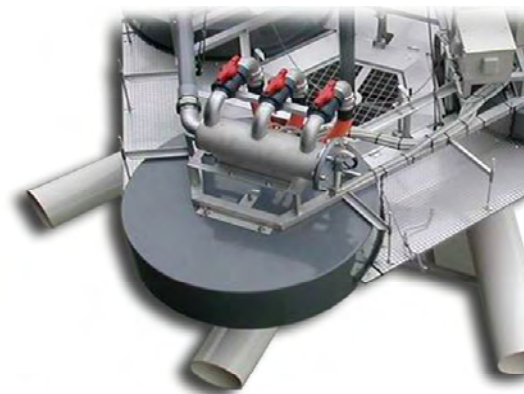
□ オゾン発生装置 (MOL-1) 搭載

浮体型太陽光発電システム

水面上で発電する太陽光発電システム。

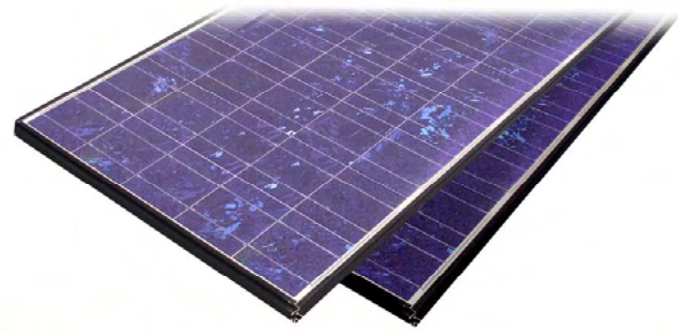
水域の有効利用と遮蔽による藍藻類の抑制に役立ちます。浄化装置との連系設置可能！ 4.5kW の太陽電池を搭載し浮体数を増やすことができ大容量の発電も可能です。

- 多結晶モジュール搭載
- 傾斜角による高効率発電が可能



太陽光発電

【 施工 / 販売 】



産業用太陽光発電システム

県内 1 の規模を誇る 300 k W 太陽光発電システムを自社工場に設置しました。
(大分曲工場 1 号棟 250 k W、2 号棟 50 k W モジュール枚数 計 2,155 枚)



大分曲工場航空写真

二酸化炭素削減効果 (年間) は 190,000kg-CO₂

「190,000 kg って言われても・・・」

例えば 1 本の杉が 1 年間に CO₂ を吸収する量は 14 kg とされています。

杉の木を 13,500 本植林したことになります。

○ 乗用車走行距離削減量換算すると・・・820,000km/年



地球を約 20 周できる距離です。



無尽蔵に降り注ぐ太陽エネルギー

太陽光発電システムはこれからの未来を切り開きます。



住宅用太陽光発電システム

住宅用太陽光発電システムとエコ・オール電化で光熱費を削減！

エコ・オール電化とはヒートポンプ式電気給湯機を利用した省エネ・オール電化のことです。

昼間は太陽光発電システムで発電し連系又は売電します。
夜間に安い電気料金でお湯をエコキュートで沸かして溜めておきます。

I H キッキングヒーター



エコ・キュート
ヒートポンプ式電気給湯機



寄棟用 3.4 k W 太陽光発電システム

ホームエレベーター



2階・3階用ホームエレベーター 製造 / 販売
高性能エレベーターを低価格でお届けします。

安心・安全設計で使いやすさを追求しました。



○非常用予備バッテリーを標準装備

○タッチパネルを採用しました。

○高性能サーボモーターを搭載

○ボールネジ式駆動で安心・安全

○省スペースで取り付け簡単

○電気代は1日8円程度



省エネ設計



タッチパネルを標準装備

大きく見やすいタッチパネルで操作が簡単に行えます。



窓部

ドア部には、小窓を標準装備



握りやすい手すりを標準化

お年寄りやお子様が身体を支えることができ手触りのよい木製を利用しています。



エマージェンシーパネルを搭載

非常電灯、電話回線ジャック、100V電源を装備し緊急時の安全を確保しています。



内装

標準タイプ側面は、アルミ製板を利用シンプルなデザインで扱いやすさを追求。



省エネを追求した設計

カゴ部の軽量化を図り稼働時の負担を軽減！



本資料に関するお問い合わせ



株式会社 石井工作研究所
ISHII TOOL & ENGINEERING CORP.



I R 担当者

TEL : 097 - 544 - 1001

E-mail : tujino@i-kk.co.jp

: tokieda@i-kk.co.jp